

寿 都 町

す っ つ ち ょ う

面 積：95.37km²
 人 口：3,626人（平成20年12月31日現在）
 世帯数：1,865世帯（平成20年12月31日現在）
 町の木：サクラ
 町の花：ハマナス
 町の鳥：カモメ
 町名の由来：アイヌ語でシュブキベツ（茅の多い川）から転じて。
 H P：http://www.town.suttu.lg.jp
 E-Mail：info@town.suttu.lg.jp



寿都町観光交流センター「みなとま〜れ寿都」



寿都町産業振興課商工観光係
 主 事 柴田 和貴



寿都町観光交流センター「みなとま〜れ寿都」
 事務局長 渋谷 香奈

しかも町の中心、食堂、菓子店などが並ぶ商店街にあります。町の人達とともに歴史を刻んできた商店街の雰囲気^{うだつ}に溶け込む趣ある税や格子をあしらった外観が目をひき、中に入ると懐かしさを感じさせる中にもモダンな要素をミックスしたしゃれた内装になっています。実際に使われていたというニシンを炊いた釜や古いミシンなど

商店街の道の駅 目の前には港が広がる

大きな窓ガラス越しに漁港が間近に眺められる寿都町の道の駅「みなとま〜れ寿都」。駅名は公募で決定し、2008年4月26日に、道内で103番目の道の駅としてオープンしました。従来から道の駅は、国道沿いなど交通量の多い場所に立地する傾向がみられますが、ここ「みなとま〜れ寿都」は道道沿い、

どこか人のぬくもりともいえる、そんな生活感が伝わってきます。ここで事務局長を務める渋谷香奈さんは、「実はここがオープンするまでは札幌で編集の仕事をしていましたが、よそからの視点があれば、女性の意見があってもいいのではということで、招かれてやってきました。寿都は知れば知るほど、面白く奥深い町で、是非その面白さを皆さんにも知っていただきたいですね。“魚介類がリーズナブルに買える直売所はど



⇐道の駅「みなとま〜れ寿都」の趣ある「うだつ」や格子をあしらった外観とモダンな内装

こ？”“寿都で食べておきたいものは？”など、まずは道の駅で何でも聞いてみてください。ここは観光交流センターという位置づけでもあり、いろいろな情報を発信していますので、きっと寿都が好きになるお答えができると思います」とにっこり。

ところで道の駅といえたいがい飲食店が併設されていますが、ここにはありません。なぜなら商店街の中の道の駅なので、周りの美味しいお店、寿都ならではの特色あるお店を紹介するからです。漁港が近いだけに、新鮮な魚料理のお店ももちろんお手のもの。ただ、ドライブの途中で休憩を目的に寄る人も多く、館内に飲食店がない代わりに、有機栽培の豆にこだわった寿都ブレンドというコーヒーを出していて、評判も上々。フライドポテトのような軽食もありますが、海沿いだけに塩にこだわった、塩キャラメルソースのソフトクリームもお薦めということです。また寿都といえばコウナゴの佃煮が有名ですが、それぞれ加工店によって微妙に味が違うといえます。そこで道の駅オリジナルの各店の少量の詰め合わせがあり、手軽に食べ比べができるとあってお土産として秘かに人気を集めているようです。

回れ、回れ、嫌われてきた 「だし風」を風力発電に活用。 そのクリーンなエネルギーは無尽蔵

寿都町は、春になるとニシンの群来で海が白くなるほどだったという、道内の日本海沿岸の多くの町が以前そうであったようにニシン場で繁栄しました。もう、昔のようにニシンは獲れなくなったものの、現在は近代的な漁業に取り組み、寿ガキというブランドのカキが高い人気を誇っています。毎年春に行われるカキまつりは大盛況です。また町ではホッケを使った加工業にも力を入れており、ホッケの魚醤「寿都のだし風」は、地元名産のホッケを塩漬けにし、じっくり自然発酵させた、料理の風味を引き立てる調味料です。渋谷さんは「これ1本あれば、どんな料理も美味しくなります。道の駅でも販売しておりますので、お忘れなく」とPRに専念。

その魚醤の名前にもなっているように、寿都は風の町ともいえるほど、風が強い町で、春から夏に吹く「寿都のだし風」は漁業や農業にマイナス面をもたらすだけで、長い間嫌われてきました。時には風速30mになることも珍しくありません。寿都町で生まれ育ち、大学時代を札幌で過ごすも、故郷のため



「寿都のだし風」をはじめとした地元の名産品

に頑張りたいと寿都町に戻り、現在寿都町産業振興課で奮闘する柴田和貴さんは「やっぱり、寿都は風が強い。この一言に尽きると思いますが、そのおかげで風力発電は平成元年からどの自治体よりも先駆けて取り組むことができました。現在は9基が稼働し、売電もしており、町の財政を潤しています。高校生の頃は、せっかく朝髪を整えても学校に着くとぐしゃぐしゃで、まったく、この風どうにかならぬかと思ったものですが（笑）、今はこの風に感謝しています。また僕も一度外に出たから言えるのですが、飯寿司にしろ、トバにしろ、寿都は魚を使った加工品が本当にどれも美味しいんですね、実は子供の時から当たり前のように食べてきたものには、先人の知恵が凝縮されていて、大げさかもしれませんが、文化や、歴史だったりするわけですよね、これらは。やっぱり食べなきゃ」と、少々真面目な面持ちになります。

「暖かい季節はレンタサイクルも無料でやっていますし、海の町なので貝を使った体験教室なども検討中。特色ある道の駅にしていきたいと思います」と渋谷さん。寿都はおよそ400年の歴史があり、寿都神社は後志管内では最も古い神社ともいわれています。名所である弁慶岬以外にも、ニシン漁最盛期の代表的な大屋敷で北海道有形文化財指定の佐藤家など、押さえておきたいスポットの情報を入手するならばスタッフが親切に対応しているのでまず道の駅「みなとま〜れ寿都」へ行くのが得策のようです。



駐車場内にある「にしん街道」の標柱